

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡科学館		
課名	文化振興課		
指定管理者名	公益財団法人 静岡市文化振興財団		
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和4年6月3日（金）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	① 萩原 智美（文化振興課長） ② 阿部 薫夫（子ども未来課長） ③ 桐野 勝（産業政策課長） ④ 桐原 正之（静岡理工科大学理工学部教授） ⑤ 山根 悠介（常葉大学教育学部准教授）		
評価点 (各委員平均点)	94.0点	評価	Ⓐ・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	1 履行状況については、施設の設置目的等を十分に理解し、良好な運営が行われている。適切に施設管理を行い、また、コロナ禍においては感染症対策を徹底するなど、安全安心な維持管理に努めている。 2 指定管理者の創意工夫については、指定管理者の持つ経験や専門性を活かし、学校や企業、他の文化施設等と連携しながら、多彩な事業を積極的に展開し、子どもから大人まで幅広い年齢層の市民が科学に関心を持つことができるよう工夫されている。 3 市民（利用者）のサービスの向上においては、職員の接遇スキルアップや、市民のニーズに沿った運営に努め、よりよいサービスの提供を目指している。 4 学校や教育機関と連携し、学校の授業では習得できないような科学教育を施設内外で子ども達に提供するなど、次世代の育成事業にも積極的に取り組んでいる。また、人材育成事業にも積極的に取り組み、講座や研修を通して育成した人材が科学館内での活動に留まらず、活動の幅を広げ		

	<p>て自主的に科学文化を普及している点は大変評価できる。 また、静岡駅周辺に立地する静岡科学館、静岡音楽館、静岡市美術館の3館で連携し、各施設の専門性を活かした事業の実施により、市民に多様な文化に触れる機会を提供するとともに、中心市街地の回遊性を高め、賑わいの創出にも貢献している。</p> <p>5 基本的な履行状況から科学館固有の評価項目まで全体的に高評価であり、非常に良好な運営がなされたと評価できる。</p> <p>今後も引き続き、子どもたちだけでなく幅広い層の市民が来館したくなるような魅力ある企画を提供したり、ハンズオンの考え方を徹底しながら展示体験支援を行うなど、科学教育を普及する拠点としての機能を果たすべく、よりよい事業運営を期待したい。</p>
--	---

総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [静岡科学館]

課名 [文化振興課]

指定管理者名 [(公財) 静岡市文化振興財団]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(ア) 静岡科学館の設置目的及び管理に関する基本的な考え方を理解し、基本理念、基本目標に沿って施設を運営している。 (15点)	13	14	13	15	15	14.0
(イ) 当初、計画書等に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。 (10点)	8	7	9	10	10	8.8
(ウ) 職員の利用者に対する対応が親切丁寧であり、利用者に安心感を与えるとともに、利用者の信頼感を得られるよう努めている。 (5点)	5	4	4	5	4	4.4
(エ) 地震・停電等の災害・事故発生時の危機管理体制を整備しており、発生時には迅速かつ的確な対応を行った。 (5点)	5	5	5	5	5	5.0
(オ) 適正な能力を持った職員が適切な人数配置された。 (5点)	4	5	4	5	4	4.4
(カ) 収支状況において、概ね予算のとおりにより執行されており良好であった。 (5点)	4	4	5	5	5	4.6
(キ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。 (5点)	4	5	5	5	4	4.6
小 計	43	44	45	50	47	45.8
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(ア) 指定管理者の持つ経験、専門性を活かし、多彩な事業を企画・実施した。 (5点)	5	5	5	5	5	5.0

(イ) 指定管理者の持つネットワーク・ノウハウを活かし、学校や他機関との共催・連携等に積極的に取り組んだ。 (5点)	5	5	5	5	5	5.0
(ウ) 指定管理者の工夫により、静岡科学館の利用や主催事業について、市民に対し積極的な広報活動を実施した。 (5点)	5	4	4	5	4	4.4
小 計	15	14	14	15	14	14.4
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた。 (5点)	5	5	5	5	5	5.0
(イ) 職員の対応力向上に努めるとともに、利用者の苦情等には速やかに対応し、利用者の意見を取り入れた。 (5点)	5	5	5	5	4	4.8
(ウ) より多くの市民の利便性を考慮し、来館者の増に努めた。 (5点)	5	4	4	5	4	4.4
小 計	15	14	14	15	13	14.2
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(ア) 静岡音楽館、静岡市美術館と連携して事業を実施し、中心市街地の賑わい創出に貢献した。(5点)	5	5	4	5	5	4.8
(イ) 展示物の解説や体験支援を積極的に行い、来館者が展示物体験を通して科学の理解を深められる機会を提供した。 (5点)	5	5	5	5	5	5.0
(ウ) 学校等との連携、講座等の実施により、科学文化普及の担い手や次世代の育成に積極的に取り組んだ。 (5点)	5	5	5	5	5	5.0
(エ) 市民が科学に興味、関心を持つようなテーマを設定し、企画展を実施した。 (5点)	5	5	4	5	5	4.8
小 計	20	20	18	20	20	19.6
合 計	93	92	91	100	94	94.0

※ 評価委員名は記載しない。

※ 平均点は小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・「Hands-on」が使命である静岡科学館にとっては、コロナの感染症対策は大変だったと思いますが、そのような中でも感染症対策を徹底し、安全で安心な施設運営が出来たことは評価できると思います。
- ・広報効果を高めるため、SNSの利用者特性を活かした役割分担をしながら、情報発信している点は工夫のあるよい取組だと感じました。
- ・科学館での楽しみを自宅でも再体験出来るようなキットの配付は科学への興味を科学館に来た時だけで終わらずに継続させるためのよい方法だと思いました。
- ・3館が連携した事業はいつもとは違った切り口からアプローチされているため、とても興味深い内容でよいと感じました。
- ・YouTubeの動画配信や大人が楽しめるように夜間開館を実施するなど、次々と新しい工夫に積極的に取り組んでいると思います。
- ・今後の事業展開に大いに期待ができます。

【B評価委員】

- ・利用者に対する対応について、研修を行うなど常に努める姿勢がみられる。
- ・コロナ以外の要因により中止となる企画等の代替は今までにとられない考え方や発想が求められるのでは。
- ・広報の媒体について工夫は見られるが、さらなる工夫、新しい手段も開拓してほしい。
- ・適正な入館者枠（数）を設定し、目標値に反映させることも必要。
- ・他の施設も同じ指定管理であるメリットを活かしている。
- ・アウトリーチ活動も工夫が見られる。
- ・職員、スタッフは利用者目線に立って対応しており、リピートにつながっていると思われる。
- ・コロナの影響がなかった場合にも同じような企画、工夫ができると思われるが、withコロナの対応に今後力を入れてほしい。
- ・県外への情報発信はもっと積極的に行ってほしい。（ターゲットをしぼるなどして）

【C評価委員】

- ・職員数について仕様書の基準を満たしているが、多くはないか。
- ・ネットワークを更に活かし、連携を進め、業務運営に反映させていただきたい。
- ・高い満足度を維持していることは評価したい。
- ・効果的な連携により、中心市街地の賑わい創出を期待したい。
- ・大人層の取込みを継続していただきたい。ただし、子どもが安心して過ごすことのできる場所であること。
- ・指定管理者は法人としての基盤が強固であり、長期にわたる指定管理により、業務運営は確かで安定している。
- ・設置から20年近く経過し、市としても大規模な修繕などにより魅力向上に努める必要があるのではないか。

【D評価委員】

- ・新型コロナウイルス感染症による臨時休館などの、当初予期していなかった困難な事態が生じたが、適切に対処されていて素晴らしいと思います。これらの困難に対して工夫を凝らして対応し、さらにYouTube動画配信や、大人対象の夜間開館を始めるなどの積極的姿勢が評価できます。利用者アンケートでも高評価を得ており、減点ポイントは無いと判断しました。
- ・毎年、様々な新たな事業を実施し、様々な他の機関との連携も活発に行っており大いに評価できます。特に大人対象のイベントを新たに創出したところが良いです。昨今のコロナ禍で実施できない事業はあったようですが、インターネットを活用したオンラインや広報活動などの工夫を行って対処しているところが素晴らしいです。アンケート結果でも高評価を得ている。減点ポイントは見当たりません。
- ・アンケートでも高い評価を受けており、利用者の利便性を考えて工夫を凝らし、様々な対処を行っていて、高く評価できます。コロナ禍で休館や入場制限があったにも関わらず、来館者数をある程度確保できているところが、すごいと思います。
- ・どの項目に関しても、様々な努力が認められ、十分な成果を挙げていると思います。高く評価できます。
- ・コロナ禍という非常事態がおこったにもかかわらず、工夫を凝らして柔軟に対処されており、様々な新しい企画に挑戦してこられた事が良くわかりました。大変素晴らしく、高く評価できます。減点ポイントは見当たりませんでした。

【E評価委員】

- ・基本理念、基本目標に沿った施設運営、事業の円滑な実施がおおむねなされている。しかし、アンケートには一部来館者からの同じようなクレームが毎年出されており、これらの点への対応改善が今後引き続き求められる。
- ・おおむね指定管理者の経験、専門性、ネットワークを活かした創意工夫に基づく運営がなされている。しかし、広報活動に関して、清水区の来館者が少ない、20代の来館者が少ない、情報入手の方法が「来館」であるのが多い等、これらの点についてさらなる広報の充実が求められる。
- ・毎年同様のクレームがアンケートにおいて一部見られ、これらについての対応を引き続き検討いただきたい。また、開館時間の延長についても毎年要望があるようなので、条例のしほりがあるが、何らかの対応の検討を引き続きお願いしたい。
- ・あるテーマについてそれぞれの館の特色、強みを活かした魅力ある企画が実施されている。学校や様々な機関との連携、人材育成も活発で、特に地域を担う科学人材の育成に大きく貢献されている点は高く評価したい。
- ・基本理念、基本目標に沿った、独自の経験や知見、強み、専門性を活かした円滑かつ効果的で魅力ある事業が行われている。コロナ対応についても十分な対応がなされており、限られた中での有益な事業の実施がなされている。地域との連携も活発で科学人材の育成にも大きく貢献している。一方、毎年同様の来館者からのクレームや要望が見られ、これらに対するさらなる検討の継続、また、より広い範囲の地域の年代の方が来館されるよう広報活動のさらなる充実が求められる。

評価委員会としての意見

施設の設置目的及び管理に関する基本的な考え方を理解し、「体験を通して科学を学ぶ」というハンズオンの考え方を徹底しており、良好な運営が行われている。

事業においては、指定管理者の持つノウハウやネットワークを最大限活かし、学校や企業、他の文化施設等と連携し、多彩な事業を積極的に展開している。子どもだけでなく、中高生や大人を対象にした事業を実施することで、幅広い年齢層の市民に対して科学へ関心を持つ機会を提供している点は大変評価できる。

新型コロナウイルス感染症の影響下においては、安心して来館してもらうために感染症対策を徹底して運営していることに加え、YouTube の動画配信により来館できなくても科学への興味関心を高める機会を提供するなど、指定管理者の創意工夫がみられた。